

## 【教科書と副教材】

教科書：「伝え合う言葉 中学国語2」（教育出版）、中学書写（教育出版）

副教材：「よくわかる国語の学習2」（明治図書）

「国語活用資料集」（新学社）、「図解で!わかる文法」（学宝社）

「学習漢字ノート2年」（浜島書店）

## 1. 評価の観点

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	「話すこと」・「聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたり深めるとともに、ねばり強い取り組みを行うとともに、言葉がもつ価値を認識しようとしている。また、読書を生活に役立て、言葉を適切に使おうとしている。

## 2. 評価の方法

評価の方法・観点	評価材料
①知識・技能	小テスト、定期考査、書写作品 など
②思考・判断・表現	小テスト、定期考査、ワークシート、ノート、発表 など
③主体的に学習に取り組む態度	学習への取り組み方、小テスト、ワークシート、発表 など

## 学習のアドバイス

- 1時間1時間の授業を大切にしましょう。そのためにも、持ち物、使う物は忘れることなくきちんとそろえましょう。
- 授業では、ねらいや学習目標を提示します。ねらいや学習目標の獲得に向けて学習に取り組みましょう。
- 話し合い活動や発表活動には積極的に臨みましょう。自分の考えを広げたり、深めたりすることができる上、わかりやすく自分の思いや考えを伝えられるようになってきます。
- 板書事項だけでなく、聞いた内容を普段から記録する（書き取る）習慣を身に付けましょう。「聞く」力が伸びるとともに、音声言語を活字に直す力もついてきます。
- 目的に沿って感想や意見、自分の考えを「書く」力をつけていきましょう。
- 文章は何度も「読み」ましょう。意味のわからない言葉や気になる表現が出てきたら、調べる習慣を身に付けましょう。日頃、読書や新聞の活字に親しみ、語句の習得や自分の考えを広げたり深めたりすることにつながりましょう。言葉（表現や描写、言葉遣い）に気をつけて読むことで、書き手（筆者や作者）の伝えたいことが理解出来たり、文章を書く力につながります。
- 書写は、筆の持ち方や姿勢に気をつけて、手本の字形をよく分析して手本どおりに書けるようにしましょう。

3. 2年国語科履修予定

月		履修予定	その他
1 学 期	4月	一 学びを広げる	期末考査 (6/24~6/26)  終業式 (7/24)
	5月		
	6月	二 論理を捉える	
	7月	三 自己をひらく  書写:硬筆	
	8月		
2 学 期	8月	四 情報を捉える  五 古典を楽しむ  六 想像を広げる  七 関係を考える ※ 書写において、毛筆の書き初め指導予定	始業式 (8/25)  中間考査 (9/7.9/8)
	9月		
	10月		
	11月		期末考査 (11/9~11/11)
12月	終業式 (12/25)		
3 学 期	1月	八 考えと向き合う	始業式 (1/7)
	2月	九 表現を味わう	期末考査 (2/22~2/25)
	3月		卒業式 (3/19)  修了式 (3/25)

## 【教科書と副教材】

## &lt;歴史的分野&gt;

教科書:中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き(帝国書院)

副教材:まんがワーク歴史Ⅱ・Ⅲ(あかつき)

## &lt;地理的分野&gt;

教科書:中学生の地理 世界の姿と日本の国土(帝国書院)

副教材:社会の自主学习 地理2(新学社)

## &lt;全分野&gt;

教科書:中学校社会科地図(帝国書院)

## 1. 評価の観点

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料からさまざまな情報を効果的に調べまとめている。	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

## 2. 評価の方法

評価の方法・観点	評価材料
①知識・技能	○小テスト ○定期考査 ○課題 ○授業プリント など
②思考・判断・表現	○小テスト ○定期考査 ○レポート課題 ○授業プリント など
③主体的に学習に取り組む態度	○学習活動への取り組み方 ○ワークの記述 ○課題 ○グループワーク ○ワークシート(単元学習カード、振り返りシートなど) の記述 など

## 学習のアドバイス

- 世の中のさまざまな現象に目を向け、それを当たり前のもので捉える前に、そのことはなぜ起こったのか、背景には何があるのかなど、深く考えてみましょう。
- 教科書や資料集を利用し、学習した事柄を復習しましょう。
- 学習した事柄のつながりを意識して、考えを深めましょう。
- 新聞やニュースに関心を持ち、世の中の動きを捉えましょう。
- 博物館や資料館、公共施設を訪問し、実物や本物に触れてみましょう。

3. 第2学年社会科履修予定

月		履修予定	その他	
		【地理的分野】	【歴史的分野】	
1 学 期	4月	第3部 日本のさまざまな地域 第2章 日本の地域的特色 p.154~165	★オリエンテーション 第3章 武家政権の成長と東アジア 第3節 人々の結びつきが強まる社会 p.90~102	
	5月	第3章 日本の諸地域 第1節 九州地方 p.167~182	第4章 武家政権の展開と世界の動き	
	6月	第2節 中国・四国地方 p.183~198	第1節 大航海によって結びつく世界 p.106~112	期末考査
	7月		第2節 戦乱から全国統一へ p.114~120	
	8月			終業式
2 学 期	8月	第3節 近畿地方 p.199~216	第3節 武士による全国支配の完成 p.124~130	始業式
	9月		第4節 天下泰平の世の中 p.134~144	中間考査
	10月	第4節 中部地方 p.217~232	第5節 社会の変化と幕府の対策 p.146~158	
	11月	第5節 関東地方 p.233~248	第5章 近代国家の歩みと国際社会 第1節 欧米諸国における近代化 P.162~172	期末考査
	12月	第6節 東北地方 p.249~264		終業式
3 学 期	1月	第7節 北海道地方 p.265~281	第2節 開国と幕府の終わり p.176~182	始業式
	2月	第4部 地域のあり方	第3節 明治政府による近代化のはじまり P.184~187	期末考査
	3月	p.283~292		卒業式 修了式

## 【教科書と副教材】

教科書:未来へひろがる数学2 (啓林館)

副教材:数学の学習2(明治図書)

## 1. 評価の観点

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則を理解している。</li> <li>・事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。</li> </ul>	数学を活用して事象を論理的に考察する力, 数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力, 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え, 数学を生活や学習に生かそうとしている。 また, 問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。

## 2. 評価の方法

評価の方法・観点	評価材料
① 知識・技能	単元テスト、小テスト、定期考査 等
② 思考・判断・表現	単元テスト、小テスト、定期考査 等
③ 主体的に学習に取り組む態度	学習の取り組み方、ノートへの記入、振り返りシート、復習小テスト 等

## 学習のアドバイス

- 各章(各単元)の導入問題へ意欲的に取り組み、学びにつなげていこう。
- 各章が終わったところで工夫して学習内容をまとめ、次の学びにつなげていこう。
- 公式や解き方の丸暗記ではなく、なぜそうなるのかを考えるようにしよう。
- 話し合い活動の機会があれば積極的に参加しよう。
- 他人に教えられるように意識して学習することで、より深く学んでいこう。「教えることは2度学ぶこと。」
- 繰り返し問題を解き、定着させよう。
- せつかく公式を覚えても、使いどころを気づかなければ、点数に結びつきません。ひらめき力を磨きましょう。

3. 第2学年数学科履修予定

月		履修予定	その他
1 学 期	4月	1章 式の計算 P.12~P.35	1年7章単元テスト (春休み明け小テスト)  1章単元テスト  期末考査 (6/24~26)  2章単元まとめ 終業式(7/25)
	5月	2章 連立方程式 P.36~P.59	
	6月		
	7月		
2 学 期	8月	3章 一次関数 P.60~p67 ~ P.95  4章 図形の調べ方 P.96~P.129  5章 図形の性質と証明 P.130~P.163	始業式(8/26) 夏休み明けテスト  中間考査 (9/11,12)  3章単元テスト  4章単元テスト 期末考査 (11/10~12)  終業式(12/25)
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
3 学 期	1月	6章 場合の数と確率 P.164~P.179	始業式(1/7)  5章単元テスト  学年末考査 (2/24~26) 6章単元テスト  修了式(3/25)
	2月	7章 箱ひげ図とデータの活用 P.180~P.192	
	3月		

## 【教科書と副教材】

教科書：未来へひろがるサイエンス2(啓林館)

副教材：理科の完全学習2年(正進社)

## 1. 評価の観点

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

## 2. 評価の方法

評価の方法・観点	評価材料
①知識・技能	・定期テスト・小テスト・実験プリント など
②思考・判断・表現	・定期テスト・小テスト・実験プリント・レポート など
③主体的に学習に取り組む態度	・授業プリント、課題への取り組み・レポート・振り返りシートなど

## 学習のアドバイス

- 授業に集中し、積極的に参加する。
- 「観察→仮説→実験→考察」の科学的な考え方を意識して、実験に積極的に参加する。
- 身近な自然や現象に興味をもち、探求する。
- 教科書や問題集を利用し、学習した事柄を繰り返し学習する。
- 学習した事柄に関連することを、自ら調べ理解を深める。
- 身近な自然や博物館などを利用し、実物や本物に触れる。
- 日常生活の結びつきを意識し、世の中の物事を科学的に見る。

3.2年理科履修予定

月		履修予定(物理・化学・生物 週3時間、地学週1時間)		その他
1 学 期	4月	【化学分野】 1章「物質の成り立ち」教 p.138~159	【地学分野】 1章「地球をとり巻く大気のように」教 p.68~79	
	5月	2章「物質の表し方」教 p.160~171 3章「さまざまな化学変化」教 p.172~188		
	6月	4章「化学変化と物質の質量」教 p.189~207		期末考査
	7月		2章「大気中の水の変化」教 p.80~92	終業式
	8月			
2 学 期	8月	【生物分野】 1章「生物の体をつくるもの」教 p.2~17		始業式
	9月	2章「植物の体のつくりとはたらき」教 p.18~32		中間考査
	10月	3章「動物の体のつくりとはたらき」教 p.33~49	3章「天気の変化と大気の動き」教 p.93~107	期末考査
	12月	4章「動物の行動のしくみ」教 p.50~67 【物理分野】 1章「電流の性質」教 p.208~241		終業式
3 学 期	1月	2章「電流の正体」教 p.242~253	4章「大気の動きと日本の四季」教 p.108~130	始業式
	2月	3章「電流と磁界」教 p.254~281		期末考査
	3月			卒業式 修了式

# 八王子市立松木中学校 教科履修予定

## 第2学年 音楽 年間授業時数 35時間

### 【教科書と副教材】

教科書(教育芸術社):中学生の音楽2,3年上下

中学生の器楽

副教材(正進社):音楽のハーモニー(ワーク)、コーラスフェスティバル(歌曲集)

### 1. 評価の観点

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	<p>・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。</p> <p>・創意工夫を生かした表現をするために、必要な技能(歌唱法や器楽演奏法など)を身に付け、表現している。</p> <p>・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解し、楽器の音色やハーモニーを理解して聴く。</p>	<p>・取り組む作品について理解しその作品が生み出す雰囲気や特質を感受しながら知覚した事と感受したこととの関わりについて考え、どのように表現するかについて思いや意図をもっている。また、鑑賞においては、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え作品の良さや美しさを味わって聴いている。</p>	<p>・その題材の学習に粘り強く取り組んだり、自らの学習を調整しようとする意思をもったりして、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習に取り組もうとしている。</p> <p>・表現しようとするものがより良いものになるように自ら探求し、伝えようとする意欲を持って取り組もうとしている。</p>

### 2. 評価の方法

評価の方法・観点	評価材料
①知識・技能	声楽、器楽の実技テスト、定期考査など
②思考・判断・表現	ワークシートへの記述、定期考査など
③主体的に学習に取り組む態度	振り返りシート、自己評価シートの記述など

#### 学習のアドバイス

- 勇気を出して表現してみる。
- 実技は粘り強く、繰り返し練習する。
- 提出物や課題には丁寧に、確実に取り組む。

3. 第2学年音楽科履修予定

月		履修予定	その他	
1 学 期	4月	歌唱:「夏の思い出」	期末考査  終業式	
	5月	鑑賞:「フーガト短調」		
	6月	合唱:「時の旅人」 クラス合唱曲 (クラスごと)		
	7月			
	8月			
2 学 期	8月	合唱:「時の旅人」 クラス合唱曲 (クラスごと)	始業式	
	9月			
	10月		鑑賞:「交響曲第5番」	期末考査
	11月		鑑賞:歌劇「アイーダ」	
	12月		器楽:リコーダー	終業式
3 学 期	1月	楽典:音階、拍子、調	始業式	
	2月	鑑賞:歌舞伎「勸進帳」	期末考査	
	3月	合唱:入学式歌、卒業式歌	卒業式 修了式	

## 【教科書と副教材】

教科書(日本文教出版株式会社):学びの探求と未来・2・3 上・下

副教材(株式会社秀学社):美術資料 東京の美術

## 1. 評価の観点

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。	・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	・主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

## 2. 評価の方法

評価の方法・観点	評価材料
①知識・技能	○作品 ○振り返りカード ○定期考査など
②思考・判断・表現	○作品 ○振り返りカード ○アイデア下描き用紙 ○定期考査など
③主体的に学習に取り組む態度	○作品の制作状況 ○振り返りカードの記述内容 ○課題 など

## 学習のアドバイス

- 身近にある美しいもの・すてきなもの・好ましいものを普段から目にし、そのよさや美しさを感じ取る。
- 参考作品や作例を基に、自分なりの発想や構想を広げ、表現を工夫し追求する。
- 忘れ物をせず、道具や用具を大切に扱う。集中して制作に取り組める環境を大切にする。
- 自分の表現は自分にしかできない世界でただ一つの表現です。自分らしさを大切にする。
- 友達の作品を鑑賞し、よさや工夫点を見つけ学ぼうとする。
- 作品のよさや美しさを見つけ、文章にまとめたり発表したりできるようにしていきましょう。

3.2年 美術科履修予定

月		履修予定	その他
1 学 期	4月	○オリエンテーション	期末考査  終業式
	5月	○鑑賞 「浮世絵っておもしろい」 「日本文化との出会い」	
	6月	「ジャポニズム」 「印象派」	
	7月	○木を彫る 「石彫板八角なべしき」  ・作品鑑賞会と振り返り	
2 学 期	8月		始業式
	9月	○彫刻刀を使おう ・彫り:浮き彫り ・かまぼこ彫り ・菱合い彫り 等	中間考査
	10月	○遠近感を表す ・線遠近法 ・一点透視図法 ・二点透視図法 ・三点透視図法	
	11月	・空気遠近法	
	12月	○鑑賞 常に新しい作風への挑戦 「ピカソ」 「岡本太郎」	期末考査
3 学 期	1月	○点描 ・三角点描を描こう ・作品完成、展示	始業式
	2月		卒業式 修了式
	3月		

## 【教科書と副教材】

教科書:新しい保健体育【東京書籍】

副教材:図解体育中学【あかつき】

中学保健学習ノート【正進社】

## 1. 評価の観点

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また、個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に主体的に取り組もうとしている。

## 2. 評価の方法

評価の方法・観点	評価材料
①知識・技能	定期考査、授業観察、学習カード、技能テストなど
②思考・判断・表現	ワークシート、学習カード、単元末のレポート、定期考査など
③主体的に学習に取り組む態度	学習内容への取り組み方、ワークシートへの記述、学習カードなど

## 学習のアドバイス

- 教科書や図解体育中学を利用しながら、学習した運動のルールや行い方を復習する。
- 基本的な運動を継続することを目指し、体力の保持増進に取り組む。
- 練習方法や作戦など仲間と協力しながら伝えあうなどの話し合い活動を大切にに取り組む。

令和8年度 第2学年保健体育科履修予定

八王子市立松木中学校

月		履修予定	その他
1 学 期	4月	体づくり運動、集団行動、ラジオ体操	期末考査
	5月	陸上競技〔短距離走・リレー〕	
		新体カテスト	
	6月	水泳〔クロール、平泳ぎ〕	
7月	【保健分野】 傷害の防止P61~P74	終業式	
2 学 期	8月	器械運動〔跳び箱運動〕 陸上競技〔ハードル走〕	始業式
	9月		中間考査
	10月	【体育理論】 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方 P112~P125	
	11月	陸上競技〔長距離走〕	
		球技〔バレーボール〕 球技〔ハンドボール〕	期末考査
12月	【保健分野】 傷害の防止P75~P89 健康な生活と疾病の予防②P91~97	終業式	
3 学 期	1月	ダンス〔現代的なリズムのダンス〕	始業式
	2月	球技〔バスケットボール〕 武道〔柔道〕	期末考査
		【保健分野】 健康な生活と病気の予防②P98~P110	
3月		卒業式 修了式	

## 【教科書と副教材】

教科書:新しい技術家庭科・技術分野(東京書籍)

## 1. 評価の観点

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	生活や社会で利用されている技術について、理解し、活用することができる。 生活に関わる技能を身に付け生活や社会、環境との関わりについて理解している。	技術に関わる問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして、課題を解決する力を身に付けている。	授業の課題や、生活の中の問題に対して、主体的に問題解決に取り組もうとしている。

## 2. 評価の方法

評価の方法・観点	評価材料
①知識・技能	定期考査
②思考・判断・表現	作品製作・(技能テスト)
③主体的に学習に取り組む態度	定期考査 レポート

## 学習のアドバイス

- 作品製作が授業の中心になります。製作の手順、工程をしっかりと確認しておきましょう。
- 実習に関わる技能は該当部分の教科書、ノート、プリント等を確認するようにしましょう。
- 提出物の期限を守りましょう。

3. 第2学年技術・家庭科(技術分野)履修予定

月		履修予定	その他
1 学 期	4月 5月	ガイダンス 第3編 エネルギー変換の技術 P138~197 エネルギー変換の技術とは何だろう。 電気を作る仕組みを知ろう。	始業式
	6月	電気を供給する仕組みを知ろう。 電気回路について考えよう。 【実習】エネルギー変換装置の設計	期末考査
	7月	効率の良いエネルギー変換の技術を知ろう。 第2編 生物育成の技術 P88~135 身の回りの生物育成の技術 作物の成長を管理する技術	終業式
	8月	【実習】畑の土づくり	
2 学 期	8月	第3編 エネルギー変換の技術 P138~197 エネルギー変換の技術とは何だろう。	始業式
	9月	電気を作る仕組みを知ろう。 電気回路について考えよう。 【実習】エネルギー変換装置の設計	中間考査
	10月	効率の良いエネルギー変換の技術を知ろう。 エネルギー変換と利用 【実習】構想モデルの設計・製作	
	11月	機械の運動を伝える仕組み 回転運動を伝える仕組み 往復運動の仕組みを調べよう。	期末考査
	12月	エネルギー変換に関する技術を未来に生かそう。 第2編 生物育成の技術 P88~135 作物の育成環境を調節する技術 作物の成長を管理する技術 【実習】間引き・除草・灌水・追肥	終業式
3 学 期	1月	第3編 エネルギー変換の技術 P172~197 エネルギー変換の技術による問題解決 電気回路の設計と製作	始業式
	2月	生活や社会を支えるロボットの技術 これからのエネルギー変換の技術 【実習】自動点灯 LED ライトの設計・製作	期末考査
	3月	電子部品を接続する技術を知ろう 電子部品の働きを知ろう	卒業式 修了式

## 【教科書】

教科書:新しい技術家庭科・家庭分野(東京書籍)

## 【副教材】

家庭科ワークノート 家庭分野(明治図書)

## 1. 評価の観点

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	・生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについての基礎的な理解とそれに係る技能について理解し、活用することができる。	・家族・家庭や地域における生活の中から、消費生活や環境について、問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして、課題を解決する力を身に付けている。	・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の表現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付けようとしている。 ・授業の課題や、生活の中の問題に対して、主体的に問題解決に取り組もうとしている。 ・食生活を工夫し、日本の生活文化を継承しようとする態度を身に付けている。

## 2. 評価の方法

評価の方法・観点	評価材料
①知識・技能	実技テスト、定期考査、作品製作など
②思考・判断・表現	定期考査、ワークシートへの記述、レポート、作品製作など
③主体的に学習に取り組む態度	学習の取り組み方、ワークシートへの記述、ノート作成、振り返りシート 授業にのぞむ姿勢

## 学習のアドバイス

○授業を大切に受けることが、何よりも大切です。

(忘れ物をしないように心がけて、授業中には発言し、積極的に参加しましょう。  
ていねいにプリントを記入して、テスト前の復習に役立てましょう。)

○家庭でのお手伝いは、積極的に取り組みましょう。

(食器洗いや、食事の準備、包丁の使い方、ボタン付け等もやってみましょう。  
家庭でお手伝いをしながら、実技の作業に親しんでおくことが大切です。)

○提出物の期限を守りましょう。

(ワークやプリントや実技作品等の完成期限を守りましょう。)

月		履修予定	その他
1 学 期	4月	4編1章 住まいの役割と安全な住まい方  2編2章 生活を豊かにするために(巾着製作)	始業式 入学式
	5月		
	6月	4編2章 持続可能な住生活を目指して	期末考査
	7月		終業式
	8月		
2 学 期	8月	5編1章 私たちの消費生活と環境	始業式
	9月		中間考査
	10月	2章 責任ある消費者になるために	期末考査
	11月	3章 持続可能な消費生活	終業式
	12月		
3 学 期	1月	2編4章 日常食の調理と地域の食文化	始業式
	2月	5章 持続可能な食生活  5編3章 これからの家族と地域	期末考査
	3月		卒業式 修了式

【教科書】NEW CROWN2(三省堂)

【副教材】・JOYFUL WORK BOOK 2(新学社) ・基礎をきずく(浜島書店)

## 1. 評価の観点

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	<p><b>知識</b>【言語材料】の【特徴やきまりに関する事項】・【用いた文の構造】・【意味や働き】を理解している。</p> <p><b>技能</b>【言語材料】などを活用して、【話題】について【話された・書かれた文等】の内容を理解する技能を身に付けている。／【事柄・話題】について、【事実や自分の考え気持ち等】を即興で伝え合ったり、正確に書く技能を身に付けている。</p>	<p>【話題】について【話され・書かれた文等】を聞いて・読んで【必要な情報】を捉えている。</p> <p>【事柄・話題】について、簡単な語句や文を用いて、【内容】を即興で話したり書いたりしている。</p> <p>【事柄・話題】について聞いたり読んだりして、【内容】を話したり書いたりしている。</p>	<p>【話題】について【話され・書かれた文等】を聞いて・読んで【必要な情報】を捉えようとしている。</p> <p>【事柄・話題】について、簡単な語句や文を用いて、【内容】を即興で話したり書いたりしようとしている。【事柄・話題】について聞いたり読んだりして、【内容】を話したり書いたりしようとしている。</p>

## 2. 評価の方法

評価の方法・観点	評価材料
① 知識・技能	単語テスト、音読テスト、定期考査
② 思考・判断・表現	スピーキングテスト、リスニングテスト、定期テスト
③ 主体的に学習に取り組む態度	授業への取り組み、音読カード、宿題カード、ノート、ワーク

## 学習のアドバイス

- 「話す・聞く・書く・読む」を意識して、毎日英語に触れる。
- 新出単語や本文などをノートに繰り返し練習する。
- 習ったところをその日のうちにワークで復習する。
- 毎日、教科書を声に出して読んで、音読や暗唱に努める。
- 宿題は、家庭学習を身に付けるためにも、帰宅したらすぐやるようにする。
- 本やインターネット、テレビなどを通し、外国の文化や言語について関心をもつ。

3. 第2学年英語科履修予定

月		履修予定	その他
1 学 期	4月	Lesson1 Meet New Friends ＜題材＞ 学校行事・部活動 ＜文法＞will / be going to…	期末考査
	5月	Lesson2 Fun With Books ＜題材＞ お気に入りの本 ＜文法＞ 接続詞	
	6月	Lesson3 My Dream ＜題材＞ 職場体験 ＜文法＞ to + 動詞の原形	
	7月	Project1 スピーチ「My Dream」  Reading Lesson 1 The tale of Peter Rabbit	
	8月		
2 学 期	8月		始業式
	9月	Lesson4 Safe Clean Water ＜題材＞環境問題 ＜文法＞ There is/are …, 動名詞	中間考査
	10月	Lesson5 Visiting Australia ＜題材＞ オーストラリア ＜文法＞ show+A+B / call+A+B	
	11月	Lesson6 Friends from Singapore ＜題材＞ シンガポール・日本の伝統文化＜文法＞ 比較、助動詞	期末考査
	12月	Project2 人気のあるもの調査  Reading Lesson2 Online Experiences	終業式
3 学 期	1月	Lesson7 Gifts from China ＜題材＞中国の伝統文化 ＜文法＞ tell+A+that…, 前置詞	始業式
	2月	Lesson8 Rakugo Goes Overseas ＜題材＞ 落語 ＜文法＞現在完了  Project3 好きなもの×観光マップ	期末考査
	3月	Reading Lesson3 A Pot of Poison	修了式